

## 会 議 録

□全部記録 ■要点記録

|                        |   |
|------------------------|---|
| <b>1 会議名</b>           | 令和3年度第1回姫路市学校給食運営審議会  |
| <b>2 開催日時</b>          | 令和4年3月25日（金曜日）午後3時～4時30分  |
| <b>3 開催場所</b>          | 姫路市総合福祉会館 5階第2会議室   |
| <b>4 出席者又は欠席者名</b>     | （出席者）坂本 薫、能瀬陽子、合田享弘、横畑幸、横山恵美好、<br>太田俊夫、芦谷得夫、入本広美、大西由美子、鈴木啓資、<br>中條浩樹、松下理香、松山優子、三村誠、毛利好孝<br>（敬称略）<br>（事務局）西田教育長、峯野教育次長、他6名 |
| <b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>   | 可 傍聴人数0名  |
| <b>6 議題又は案件及び結論等</b>   | 1 会長・副会長の選出について<br>2 姫路市立小中学校における食育推進プランについて  |
| <b>7 会議の全部内容又は進行記録</b> | 詳細については以下のとおり   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 1 開会  |
| 教育長 | <p>2 挨拶</p> <p>昨年末には収束するかに見えた新型コロナウイルスの感染も年明けからオミクロン株の感染拡大により市内の学校では学級・学年閉鎖等があり、3学期の学校教育活動へ様々な影響を及ぼした。そのような中、学校教育関係者の多大な努力のおかげで、小中学校・義務教育学校・特別支援学校では本年度の終業式を無事終え令和3年度の締めくくりをすることができた。また、南部学校給食センターが2月から本格稼働し、対象校12校を含めた全中学校で全員給食を実施することができた。</p> <p>ここ2年以上コロナ禍により給食をはじめ調理実習、学校行事、校外学習等、食育推進に係る行事に様々な制限がある中、各学校では色々と工夫をしながらの食育推進の取組に感謝申し上げます。</p> <p>姫路市教育委員会では「姫路市立小中学校における食育推進プラン」を策定し、このプランに基づいて各学校に食育の推進をお願いしているが、現プランの計画期間が平成29年度から令和3年度となっている。</p> <p>昨年、子ども達の食の現状を把握するため「食生活実態調査」を実施し、本日までご出席いただいている兵庫県立大学坂本教授の分析・ご指導のもと、令和4年度以降の同プラン（案）を作成し、本日はその内容について審議願いたい。</p> <p>今、小学校中学校で学んでいる子ども達が、予測のつかない社会を生き抜くためには様々な力が必要となるが、生涯にわたって、困難にくじけず、明るく元気で、心身ともに健やかに育っていく基礎として、学校における食育の取組を確実にを行い、子どもの中に健全な食生活を確立することが重要である。本日の審議会で、様々な立場からのご意見を願います。</p> <p>また、昨年度本審議会での内容を踏まえ、令和4年度より実施する学校給食の公会計化及び第3子以降無償化を行う予定である。学校にも手続等をお願いし、事務局でも準備を進めているが、学校給食の公会計化及び第3子以降無償化の内容について報告をさせていただく。</p> |
| 事務局 | 3 委員紹介  |
| 事務局 | <p>4 議事</p> <p>(1) 会長・副会長選出</p>   |

|            |   |
|------------|---|
| <p>会長</p>  | <p>会長に坂本氏を選出<br/>副会長に能瀬氏を選出</p> <p>(会長就任挨拶)</p> <p>前回調査時、調査内容の作成段階から関わり食生活実態調査と食事調査を行い、その分析に関わった。今回は、事務局が前回と同様の内容で実施した調査の結果を単純集計し、まとめたものである。前回と今回の調査は、同じ姫路市の児童生徒の調査であるが、コロナ禍の前後での調査となった。前回調査と今回の調査を比較して、食育の大切さ、給食の大切さを改めて感じている。不便な状況ではあるが、学校給食、学校での食育の大切さが一層クローズアップされたと感じている。子供たちの成長を願い、学校では教師が、家庭では保護者の皆様のご尽力されている。よりより食育プランの策定のため、委員の皆様のご協力をお願いしたい。</p> |
| <p>会長</p>  | <p>(公開可否)</p> <p>本日の審議会は、意義がなければ公開とするがよいか。(異議なし)</p> <p>異議なしと認めて公開とする。</p> <p>(2) 姫路市立小中学校における食育推進プランについて</p> <p>事務局より、姫路市立小中学校における食育推進プランについての説明を求める。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>資料「姫路市立小中学校における食育推進プラン(案)」について説明</p>   |
| <p>会長</p>  | <p>(質問) 事務局からの説明につきご質問又はご意見は。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>主な調査結果(課題等)(2ページ)について、主な課題が3点あるうち、1点目に改善していないという内容が記載されているが、できていることから記載するよう、記載の順番を入れ替えて、2点目・3点目・1点目という形はどうか。</p> <p>次に全体評価(7ページ)について事務局から、南部学校給食センターの本格稼働により全員給食を実施していることやコロナ禍の状況も踏まえてという説明があったが、今回の調査はコロナ禍で実施していることや、学校では給食時間のランチルームでの指導や調理実習が困難であったという状況を鑑み、今後コロナが終息すれば、本プランに基づき積極的な食育を実践していくということを記載してはどうか。</p>                                     |

|            |   |
|------------|---|
| <p>会長</p>  | <p>1点目はできていることを最初に記載するというだけでよいか。</p> <p>2点目について、コロナが終息すれば食育を実践するというのではなく、終息しなくても、状況を見て可能な範囲で行っていくとするほうがよいのではと思うがどうか。何をもって終息とするか曖昧なところもあり、元通りにはなかなかできないかもしれないが、コロナ禍においてもできる範囲で工夫して子供たちへ食育を働きかけていくという形はどうか。</p> <p>また、「1趣旨」のところにも、「コロナ禍にある実態を踏まえて」と一言あってもいいのではないか。コロナ禍であるという実態を踏まえたうえでの食育推進プランの検討・見直しであるということを明確にしてもいいのではないか。</p> |
| <p>委員</p>  | <p>コロナ禍で学校での調理実習がなくなったが、調理実習は食材に触れるいい機会であった。今は、学校からの調理に関する課題を家で一緒にしているが、学校で野菜の基本的な切り方や、だしの取り方など学ぶ機会が減ったのが残念。</p>  |
| <p>会長</p>  | <p>資料 39 ページ「料理を作ることができるか」という調査項目で、統計的に有意差はないが、中学2年生では差はないが、小学5年生で「料理ができる」と回答した割合が減少している。調理実習ができなかったことが影響していることも予測される。様々な場面で少しずつ影響があり、教育の大切さを改めて感じる。</p>  |
| <p>委員</p>  | <p>コロナによる負の部分が多く言われているが、本校（小学校）では、給食の残菜が減っている。コロナ対策で、配膳を教師が行っていることが要因とも考えられる。</p> <p>資料の調査結果では、間食や夜食をとる割合や朝食を食べない割合が増加や、体重を気にする等意識が変わってきている。コロナ以外にも子供たちの食生活のリズムを乱している要因がどこにあるのか気になる。</p>  |
| <p>会長</p>  | <p>この調査結果でよい結果として、資料 40 ページの調査結果で「朝食を家族と一緒に食べる子」の割合が増えている。小学3年生の朝食では特に顕著である。これは、テレワークなどが増えたことも要因と考えられる。コロナ禍というとマイナスが大きく見えるが、よい面もある。食生活の状況も変わってきている。</p>   |
| <p>副会長</p> | <p>子ども達にとってコロナの影響が様々な場面で大きく出ているように思う。家族が家にいる影響で、夜型の親の生活リズムが子供たちの生活リズムを乱している可能性</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p>もあるのではないか。給食も黙食の影響があるのではと感じている。中学校の現場ではどうでしょうか。</p> <p>中学校で、2月から学校給食が始まった。本校は大規模校であり、限られた時間内での準備・片付け等となるが、生徒は小学校での経験がありスムーズに準備等ができています。給食は、家庭での十分な栄養摂取が困難な生徒には大きな役割を果たすものである。本校は大規模校であるが、給食残菜は少ない。黙食の中で食育推進については、大型ディスプレイを使用するなど、工夫して取り組むことが必要。</p>                          |
| 委員  | <p>「食に関心を持つ子の育成」という項目について、中学校で給食が始まり、献立表や給食だよりなどを使って、生徒は献立や節分などの行事に関心を持つことができる。「健全な食生活」ということでは、家庭での食生活が十分でない子もいるなか、不登校の生徒が給食まで学校に在ることができ、給食が学校へ来るきっかけとなっている。そういう面でも給食はありがたく、大切である。</p>  |
| 会長  | <p>他にご質問又はご意見はあるか。</p> <p>プランの修正箇所の確認をする。</p> <p>1 ページ目 「趣旨」にコロナ禍の状況のことを加える。</p> <p>2 ページ目 「主な調査結果」の記載順を変える。</p> <p>7 ページ目 「(3)全体評価」について、コロナ禍で、できる対策に取り組む旨を加える。</p> <p>以上について、事務局で整理し、会長・副会長が最終案を確認し、修正について会長・副会長に一任するという形でよいか。</p> <p>異議なし</p> <p>異議がないので、会長、副会長が最終案を確認する。</p> |
| 会長  | <p>5 報告事項</p> <p>「令和4年度からの学校給食費公会計化及び第三子無償化について」説明を求める。</p>   |
| 事務局 | <p>資料2「令和4年度からの学校給食費公会計化及び第三子無償化について」について説明。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 会長  | 事務局からの説明につきご質問又はご意見は。  |
| 委員  | 物資の配送について、配送業者は、複数校に配送している者もあるが、決められた配送時間に配送してもらえようをお願いしたい。給食室では物資の受取り、検品、下処理、洗浄、裁断等の調理までのプロセスがあり、配送時間が遅れると給食提供が間に合わないということになってしまう。工程表で時間配分を決め調理業務を行っているので、安全・安心な給食提供のため、特に事務局をお願いしたい。 |
| 事務局 | 細かな配送時間を指定してほしいという意見でよいか。登録業者は、従来からの業者のみ。スムーズな公会計化への移行を目指し、配送時間についても現行通りで進めている。公会計化に伴い、より細かな配送時間ということなら、納入業者との協議や、必要に応じて調理師の方と相談しながら進める。   |
| 委員  | 無償化について、相生市では小中学生、明石市では中学生が無償となっている。姫路市は第3子以降が無償化ということだが、小・中どこかの学年を全員無償ということとはできないのか。  |
| 事務局 | 財政的な負担が大きい。第2子の減額について、財政状況を踏まえながら引き続き検討する。   |
| 会長  | 第3子以降の無償化だけでも、資料のとおりかなりの影響額である。対象を拡大するのは簡単ではないと思うが、引き続き未来を担う子供たちの健全な成長のために検討してほしい。   |
| 会長  | 他にご意見又はご質問はないか。<br>以上をもって、本日の令和3年度第1回姫路市学校給食運営審議会を終了する。  |